

# オニタビラコ

[草本] 《嗜好》



花は初春に多いが通年見られる。



長い花茎の先端に花を付ける。



道ばたにも多い。

## 区別のポイント

高さ 0.2 ~ 1 m の茎の先端に直径 8 mm ほどの黄色の頭花を散房状につける。初春に多く開花する。道ばたで普通に見られる。

**形態** 1 ~ 2 年草。高さ 0.2 ~ 1 m。群生することが多い。

**分布** 全国

**名前の由来** ロゼット状の葉が放射状に伸び、田に平らに張り付くように這うことから、オニは大きいこと。

**葉** **〈全体〉**長さ 8 ~ 25 cm、幅 1.7 ~ 6 cm で羽状に深裂する。茎の下部に多く付く。

**〈葉先〉**根生葉はまるく、他は尖る。

**〈縁〉**不規則に深裂し波打つ。

**備考**

**出典** 1 4